

にほんご にほんぶんかけんしゅうせい
日本語・日本文化研修生

Japanese Language and Culture Studies Program students

ぼ しゅう よう こう
募集要項

Application Guideline

2015-2016

(One Year course and Half Year course)

ほっかいどうだいがく
北海道大学

Hokkaido University

日本語・日本文化に関する研究・調査活動に役立つ日本語能力の伸長と、研究に必要な基礎知識、方法論・技能等の修得・運用を通じた日本語・日本文化(特に、日本語学・日本語教育学分野の)理解を目的とするコースであり、プログラムの中で受講生の日本語能力の向上を図るとともに、日本語・日本文化に関する日研専門科目、日本人学生と共に学ぶ多文化交流科目、英語で開講される国際交流科目の履修により、日本文化・社会についての多様な学習が可能なプログラムです。1年コースの後半においては「自主研究」を履修する学生に対して指導教員が受講生の専攻分野に応じて、研究レポート作成及び研究発表遂行を目的とした個別の研究指導を行うことを特色としています。

1. 出願資格

- (1) 2015年4月1日現在で満18歳~30歳未満であること。
(2) 北海道大学と大学間交流協定を締結している外国の大学の学部にあつて、日本語・日本文化に関する専攻課程を主専攻として在籍している者。
(3) 出願時において、初級レベルの日本語の学習を修了し中級レベルに達していると認められる者(日本語能力試験N3以上に合格している者又は同試験の合格者と同等の日本語能力を有している者)

2. 募集人数: 1年コース: 30名

半年コース: 30名
原則として1年コース、半年コースのそれぞれにおいて、大学間交流協定校1大学1名を受け入れます。ただし、定員に空きがある場合は複数名受け入れることがあります。

3. 提出書類(日本語または英語で作成してください。)

- (1) 入学願書(所定の様式に日本語で記入)
(2) 在籍証明書(在籍大学発行のもの)
(3) 北海道大学総長宛の推薦状(在籍大学の学長、学部長又は専攻長等発行のもの)
(4) 成績証明書(在籍大学発行のもの)
(5) 日本語能力試験N3以上の合格通知書の写し(又は、指導教員による日本語能力を証明する書類。内容には必ず①日本語授業時間数、②同授業で使用したテキスト名、③日本語の成績に関する記述を含めてください。)
(6) パスポートの写し
(7) 写真2枚(4.5cm x 3.5cm, 裏面に氏名を記入。)
(8) 日本政府(文部科学省)奨学金申請書(1年コースのみ対象。両面印刷、申請希望者のみ提出)

4. 日本政府(文部科学省)奨学金 ※1年コースのみが対象となります。

1年コース希望者で日本語能力試験N2相当以上の資格を有する者は日本政府(文部科学省)奨学金留学生に申請することができます。申請書及び募集要項は、1月下旬を目処に下記ホームページに掲載いたしますので、申請を希望する方は募集要項を熟読の上、申請書を両面印刷して提出してください。ただし、本奨学金の受給は大変厳しい状況にあります。申請しても認められる確率は非常に低いことをご承知置き願います。なお、受給の有無については7月中旬にお知らせいたします。

http://www.isc.hokudai.ac.jp/www_ISC/cms/cgi-bin/index.pl?page=contents&view_category_lang=1&view_category=202&allmenuopen=

- (1) 支給期間: 2015年9月~2016年8月
(2) 支給月額: 117,000円(予定額)

5. 海外留学支援制度(JASSO)奨学金 ※半年コースのみが対象となります。
半年コース希望者で JASSO の求める要件を満たしている者は、海外留学支援制度(JASSO)奨学金に申請することができますので、受給を希望する場合は申請書類の「出願書類チェックリスト」の「2. 奨学金申請希望の有無」の「希望します」にチェックをしてください。今回は少なくとも、10名に奨学金が当たる見込みです。なお、受給の有無については7月中旬にお知らせいたします。

- (1) 支給期間：2015年9月～2016年3月
(2) 支給月額：80,000円（予定額）

6. 出願締切

2015年2月20日（北海道大学への到着期限）
上記の期限までに申請書類が北海道大学に届くように、在籍大学の国際交流担当部署に早めに提出してください。

5. JASSO scholarship

The JASSO scholarship is available only for the Half-Year course applicants who meet the JASSO requirements. At least 10 students are expected to receive the scholarship. The result would be announced in the middle of July.

6. How to submit

The documents need to reach Hokkaido University by February 20, 2015. Please submit the documents to the office responsible for student exchange of your home university early considering the deadline.

日本語・日本文化研修コースの概要

1. コース期間

- ・1年コース：2015（平成27）年9月～2016（平成27）年8月
- ・半年コース：2015（平成27）年9月～2016（平成28）年3月
（冬季休業、春季休業及び自主研修期間を含む）

2. 授業科目の概要

内容は、日本語を学習する選択必修科目群、日本語・日本文化に関する講義を行う選択科目群、研究レポート作成を含む自主研究である自由科目（1年コースのみ）の三つの科目区分より構成される。

(1) 授業科目名、区分及び時間数（2014年11月現在）

【選択必修科目】

授業科目区分	授業科目名	時間数(第1期)	時間数(第2期)
選択必修科目	中級文法	30又は60	30又は60
	上級文法	30	30
	中級漢字語彙	60	60
	上級漢字語彙	30	30
	中級読解	30	30
	上級読解	30	30
	中級文章表現	30	30
	上級文章表現	30	30
	中級口頭表現	60	60
	上級口頭表現	60	60
	中級聴解	30	30

【選択科目】

授業科目区分	授業科目名	時間数(第1期)	時間数(第2期)
選択科目	日本語学概論	30	
	日本語の発音	30	
	日本語の文法	30	
	日本語の語彙		30
	日本語の表記		30
	日本語の歴史		30
	日本語研究	(不定)	(不定)
	比較文化論	30	
	日本の歴史・地理		30
	日本の政治・経済		30
	日本の文学・芸術		30
	日本の社会・文化		30
日本文化研究	(不定)	(不定)	
特別講義	1	120以内	

第3-4页为英文说明，与日文同，从略。

※日本語・日本文化研修コースは、2015年9月入学者から単位認定が可能なプログラムとなる見込みであり、プログラムの単位化に併せてカリキュラムも改編の予定であるため、科目名等についても変更となることがありますのであらかじめご了承ください。

【自由科目】

授業科目区分	授業科目名	時間数(第1期)	時間数(第2期)
自由科目	自主研究		30

ア. コース期間区分 第1期：2015年9月から2016年3月
第2期：2016年4月から2016年8月

イ. 選択必修科目の履修方法については、次のとおりです。

第1期及び第2期を通して、300時間以上を履修してください。

ウ. 第1期及び第2期を通して、選択必修科目、選択科目及び自由科目を合わせて540時間以上修得してください。

エ. 選択科目のうち日本語・日本文化に関する科目については、全学教育科目又は各学部で開講される専門科目の履修をもって、当該選択科目の履修に代えることができるほか、前記の科目に国際交流科目を含め120時間を超えない範囲で特別講義として履修することができます。

※プログラムの単位化が認められた後は、時間数は単位に換算されます。

(2) 授業内容

ア. 選択必修科目

- ① 中級／上級文法
既習の文型や表現を整理し、日常会話や文章表現に必要な文法項目を習得する。
- ② 中級／上級漢字・語彙
読み物などを通じて漢字習得・語彙力を伸ばす。
- ③ 中級／上級読解
新聞・雑誌・単行本などの生の教材を通じて読解力を伸ばす。
- ④ 中級／上級文章表現
適切な文型や表現を習得し、手紙・メール・レポート・論文などの学術的な文章を書く力を身につける。
- ⑤ 中級／上級口頭表現
大学内外の様々な場面で必要な口頭表現能力を身につける。
- ⑥ 中級／上級聴解
日常生活で耳にする日本語の話し言葉の音声的な特徴を理解し、慣れる。

イ. 自由科目「自主研究」※1年コース第2期のみ開講

受講生の専攻分野・研究課題に応じて指導教員より個別に指導・助言を受けることを通じて、研究のための方法・技能等を習得し、研究レポート作成を遂行する。作成したレポートは研究成果を示す「レポート集」として刊行する。

(3) コース及びクラスの形態

ア. コース形態

北海道大学国際本部留学生センター内に設置されたコースであり、受講生は入学後1年間ないし半年間を通してこのコースで指導を受ける。

イ. クラスの形態

入学後に実施するプレースメントテストにより、日本語能力別に中級レベル及び上級レベルのクラスを受講する。

プレースメントテストで初級レベルと判断された場合は、初級レベルのクラスの受講となるため、修了証書は発行されない。

3. 指導体制

(1) 専任教員

氏名	所属	職名	専攻
山下好孝	留学生センター	教授	日本語学・スペイン語
小林由子	留学生センター	教授	日本語教育・学習科学
中村重穂	留学生センター	准教授	日本語教育・意味論
小河原義朗	留学生センター	准教授	日本語教育
鄭恵先	留学生センター	准教授	日本語学・社会言語学
山田智久	留学生センター	准教授	日本語教育・教師教育論
山田悦子	留学生センター	准教授	日本語教育・異文化間教育
伊藤孝行	留学生センター	准教授	日本語教育・日本語学

(2) 個別指導

ア. 学業面

コース・コーディネーターが必要に応じて個別指導を行います。1年コース第2期において「自主研究」を受講する学生については、各学生の指導教員が毎週1回個別指導を行います。

イ. 生活面

1年間ないし半年間を通して、国際本部のカウンセラーが必要に応じて相談業務に当たります。

4. コースの修了要件、修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、選択必修科目及び選択科目を合わせて540時間以上（単位化後は単位に換算の見込み）を修得することを修了要件とし、この要件を満たした者には修了証書を授与します。

2. (3) イのプレースメントテストにおいて初級レベルと判断された者は、初級クラスでの受講となり、修了要件を満たさないため、修了証書は発行されません。

5. 単位認定、単位互換等

履修した授業科目の単位認定は、国際本部の委員会の承認が必要です。コース終了後には、取得単位数及び成績評価を記載した成績証明書を交付します。

6. 宿 舎

北海道大学には、霜星寮(单身女子)、北大インターナショナルハウス(单身、夫婦、家族)の宿舎があり、本学に在籍中はいずれかの宿舎に住むことになります。

◇問い合わせ先

大学所在地：〒060-0815 札幌市北区北15条西8丁目

担当部署：北海道大学国際本部留学生センター(国際教務課)

担当教員：小林 由子

TEL：+81-11-706-8058

FAX：+81-11-706-8067

E-mail：rkouryu@oia.hokudai.ac.jp

大学のホームページ：http://www.hokudai.ac.jp/